

おわりに

チェックシートによる防災の取組実施状況の確認

防災の取組について、自社が現時点でどれくらい実施できているか、把握してみましょう。チェックシート形式で確認すると視覚的にも非常にわかりやすく、現時点の実施状況が把握できます。資料編にチェックシート例を掲載していますので、自社の災害リスクや実施すべき対策によってカスタマイズしつつ、現時点での実施状況を確認してみてください。一度の確認で終わるのではなく、特定の日付(例:1月17日(防災とボランティアの日)、3月11日、9月1日(防災の日))を決めるなどして、定期的にチェックするとより効果的です。

継続的な見直し

(防災は見直しが不可欠)

防災の取組は、計画作成から対策実施への一方通行ではなく、常に点検・見直しを図っていかなければいけません。災害はいつ襲ってくるかわからないので、その時々で最大限の取組を実施する必要があります。そのためには、できていること・できていないことの明確化や弱点の洗出しが必須です。

(チェックシートと訓練が見直しに有効)

取組の実施状況については、前述のチェックシートを活用して、定期的に点検して見直しましょう。事前に作成した計画と対策の最も効果的な見直し方法は、訓練をして、そこでの気づきをフィードバックすることです。また、チェックシートや訓練以外にも、日ごろから職場における災害のリスクを意識して情報を共有するだけでも、見直しの効果があります。

(被害の最小化に向けて)

災害は常に人間の予測を上回ることもあり、防災の取組には完成がありません。しかし、取組むことでその効果は必ず現れます。リスクを過小評価しないこと、現在の取組に満足しないことに注意して、常日頃からブラッシュアップしていき、被害の最小化につなげていきましょう。